

『昭和の一宮』

松本勝二/編著 郷土出版社 1983年

7階郷土資料コーナー A 273/83/2

『一宮・尾西・木曽川いまむかし』

名古屋郷土出版社 1989年

7階郷土資料コーナー A 273/114

『ふるさと一宮』

岩野見司/監修 郷土出版社 2011年

7階郷土資料コーナー A 273/フル

『一宮市の百年』

森靖雄/監修・執筆 宮川充史/執筆

樹林舎 2021年

7階郷土資料コーナー A 273.1/イチ

『写真でたどる一宮大空襲』(DVD)

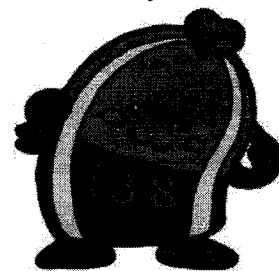
大志連区地域づくり協議会/企画

大志連区の歴史と文化を知る会/企画 2021年

6階AVコーナー DVA 70/シ

一宮空襲について

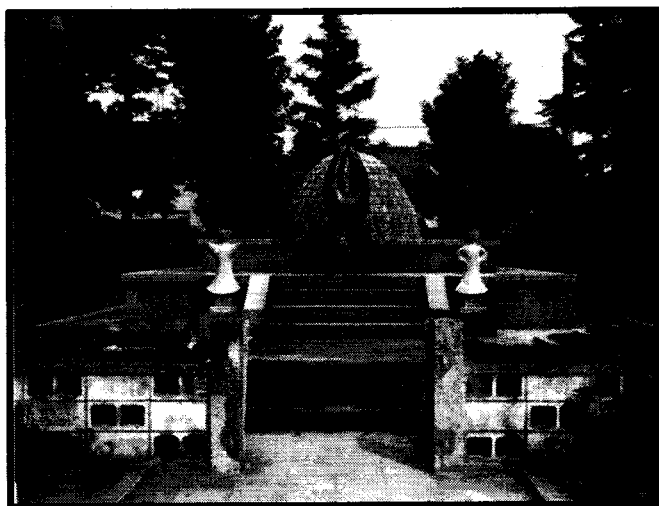
調べるには？



著書「戦時下の一宮くらしと空襲」の著者森靖雄氏の語りを収録15分。
一宮市制100周年事業で大志連区地域づくり協議会作成 2021/8/25
DVD図書館へ寄贈
youtube、大志地づ協HPに掲載

一宮市は、1945（昭和20）年7月12日と28日の2回にわたる空襲により甚大な被害を受け焼け野原になりました。

ここでは、一宮空襲について調べるために参考になる資料やインターネットの情報について紹介します。



『戦災慰霊碑 大乘公園』 昭和54年7月10日撮影 PA3/15

毎年、空襲で被害を受けた7月28日に大乘公園の慰霊碑の前で、一宮市戦災遺族会により戦災死没者慰霊法要が執り行われます。

総務省ウェブサイトより



『真清田神社本殿跡』 撮影日不明 PA3/80

インターネット、データベースもご活用ください。

7階インターネットブースではデータベースを利用して、新聞記事や国立国会図書館のデジタル資料が検索できます。

ここで紹介した資料がすべてではありません。

郷土に関する質問は7階カウンターでおたずねください。

一宮市立中央図書館

〒491-0858 一宮市栄3丁目1番2号

尾張一宮駅前ビル（愛称：i-ビル）5～7階

TEL：0586-72-2343 FAX：0586-23-2136

● 空襲 ●

日本への空襲は北海道から沖縄に至る全国 163 都市に及び、新潟、金沢、奈良などの少数を除くと、ほとんどの都道府県のめばしい都市がすべて爆撃を受けている。空襲による人的被害は調査機関によって数字が異なるが、死者は約 50 万人が真実に近いとされている。

参考文献 『日本大百科全書 7』 小学館 1986 年 R031/96/7

概要を調べるには

『愛知県史 通史編 8 近代 3』

愛知県史編さん委員会/編集 愛知県 2019 年
7 階郷土資料コーナー A 201/アイ/8

『愛知県史 通史編 9 現代』

愛知県史編さん委員会/編集 愛知県 2020 年
7 階郷土資料コーナー A 201/アイ/9

『新編一宮市史 本文編下』

一宮市 1977 年
7 階郷土資料コーナー A 273/19/18

『戦災余談』

吉田万次/著 投資経済社 1954 年
7 階郷土資料コーナー A 273/22

『一宮の歴史』

一宮の歴史研究グループ 1994 年
7 階郷土資料コーナー A 273/48/94

『史録いちのみや』

松本勝二/著 郷土出版社 1986 年
7 階郷土資料コーナー A 273/96

『一宮北中学区の昔と今』

吉川茂 1991 年
7 階郷土資料コーナー A 273/118

『戦時下の一宮くらしと空襲』

森靖雄/著 人間社 2021 年
7 階郷土資料コーナー A 273.1/モリ

一宮市ウェブサイト「一宮空襲」

<https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/sougouseisaku/seisaku/1044320/1010657/1002369.html>

総務省ウェブサイト「一般戦災死没者の追悼」

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/daijinkanbou/sensai/

被害状況、復興について調べるには

『日本都市戦災地図』

第一復員省/編 原書房 1983 年
屋上閉架 210.7/22

『一宮市第二次世界大戦々災資料調査書』

伊藤輝男 1977 年 7 階郷土資料コーナー A 390/7

『戦災復興誌 第 7 巻 都市篇 4』

建設省/編 都市計画協会 1959 年
屋上閉架 291/110/7

『市長おぼえ書き』

伊藤一/著者 一宮タイムス社 1973 年
7 階郷土資料コーナー A 318/71

● 一宮空襲の日付について ●

『新編一宮市史 本文編下』によると、第一回一宮空襲は、「7 月 13 日午後 8 時」とあるが、2013 年 9 月 5 日、実際の空襲は「7 月 12 日深夜から 7 月 13 日未明」であったと訂正が発表されている。
ただし、すでに発行されている市史や復興誌については修正・正誤表の作成はされず、今後の市史編纂などで修正する見込みである。

参考文献

中日新聞 2013 年 9 月 5 日夕刊 1 面
中日新聞 2013 年 9 月 6 日朝刊 16 面（尾張版）

体験記を読むには

『今伊勢 第一集 土地の人々が語り伝えるふる里』

一宮市立今伊勢中学校 1990 年
7 階郷土資料コーナー A 273/119/1

『思いやりのまち一宮に寄せて 一宮空襲体験集』

市民憲章推進作文入賞作品集 11』

一宮市民憲章推進協議会 1996 年
7 階郷土資料コーナー A 318/134/11

『空襲・戦災の体験記』

一宮市 1972 年
7 階郷土資料コーナー A 960/3

『一宮の空襲を語る 改訂版』

第四国民学校第四十二回同期会事務局 2006 年
7 階郷土資料コーナー A 960/イ

『子どもたちに伝えたい一宮空襲と戦争の記憶』

一宮空襲と戦争を伝える会 2014 年
7 階郷土資料コーナー A 960/コト